



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018年7月31日



集団健康診断



専用バスで胃部レントゲン検査

このたび、問屋町と第二問屋町の間を流れる荒川の河川敷の雑木が伐採された。河川敷の雑木は景観を損ねるほか、アメリカシロヒトリなどの害虫被害も引き起こすなど問題となっていた。また、雑木の放置は、洪水時に流れをせき止めたり、流された樹木が堤防や護岸などに損傷を与えるなど河川の管理上好ましくない。そこで、荒川を管理する東青地域県民局では数年一度、河川敷の雑木を伐採している。



荒川河川敷 (伐採後)



荒川河川敷 (伐採前)

組合では、今年度1回目となる集団健康診断を実施した。6月12日(火)から14日(木)の3日間、問屋町会館2階大会議室で行われた同健康診断には、組合員をはじめ近隣企業からも数多く参加し、308名が受診した。

平均寿命の短さは、塩分の多い食生活や喫煙、運動不足などの生活習慣が大きな影響を及ぼしているほか、健康診断受診率の低さも要因となっている。青森県の健康診断受診率は70%を下回っており、全国下位。また、せっかく健康

## 健康診断で健康づくりの第一歩 第1回集団健康診断

や歯の健康に関する相談を受ける特設コーナーが設けられ、3日間で30名が利用した。また、体組成計と血管年齢計を設置した健康チェックコーナーを設け、利用者から好評を得た。

今後、短命県返上の一助となるよう、青森市南部の健康づくりの拠点として積極的に健康事業に取り組み。



歯の健康相談コーナー

## 荒川河川敷の雑木が伐採される

2017年に発表された都道府県別平均寿命では、青森県はまた男女とも全国最下位であった。平均寿命の発表は5年に1度で、男性は9回連続、女性は5回連続の最下位。

組合では2014年度からスタートした健康事業の一環として、実施団体等の協力を得て、近隣企業にも健康診断の受診を呼びかけている。また、一般市民対象の「問屋町地区健康診断」を年数回開催するなど受診環境整備に取り組んでいる。

### 問屋町会館2階大会議室一部 改修工事の実施などが承認 第3回理事会

6月21日(木)に第3回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、北日本流通ヴァン(株)の2017年度決算や問屋町大通りへのフワーボックス設置などを報告した。

主な案件審議は次のとおり。  
案件一、事業委員会からの意見について

問屋町会館2階大会議室一部改修工事や問屋町会館東側屋根雪庇ガード設置の実施が承認された。

案件二、労務対策委員会からの意見について  
納涼パーティーや従業員親睦交流会の開催などが承認された。

案件三、環境対策委員会からの意見について  
防災訓練や問屋町地区側溝

泥上作業の実施が承認された。  
案件四、組合施設の売却について  
案件五、組合員の脱退及び新規組合員の加入について

案件六、賃貸組合員の脱退について  
案件七、組合員跡地買取資金の借換について

案件八、2018年度の役員報酬について  
説明した。

### 会員交流会で自社紹介

青森問屋町経営同友会

問屋町の若手経営者や後継者らで組織される青森問屋町経営同友会の第26回会員交流会がホテル青森で開催され、同会会員14名が参加した。

交流会では、同会に新たに入会した(株)アピイと(株)リビエラが、自社紹介を行った。

はじめに、問屋町で新社屋建築を進めている(株)アピイの濱田社長が、同社の運営する有料老人ホームを紹介。続いて、管工事業者である(株)リビエラの今専務が、同社の地下水を利用した空調や融雪設備について、施工実績も合わせ



同友会 会員交流会

て説明した。  
その後行われた懇親会では、ダイエットグランプリの体重測定や恒例の1分スピーチなどが行われ、賑やかに親睦を深めた。

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)と青森問屋町経営同友会(同友会)の19回目となる合同ゴルフコンペが6月9日(土)、びわの平ゴルフ倶楽部で開催された。同コンペには、両会会員とオプザーバーを含む29名が参加し、少し肌寒さを感じる天候のなか、珍プレー好プレーに一喜一憂しながらラウンドした。  
プレー終了後は表彰式が行われ、北燃商事(株)の木村氏が2連覇を達成、ベストグロス賞は(株)アール・イー・ビー企業の鷲尾常務が獲得した。

### 青友会・同友会 合同ゴルフコンペ



合同ゴルフコンペ

問屋町緑のボランティア隊の今年度1回となる活動が6月24日(日)に実施された。同隊隊員38名が参加した今回の作業は花苗の植栽。問屋

### 緑のボランティア隊が 花苗植栽



問屋町緑のボランティア隊

町東口及び第二問屋町北口、青森中央卸売市場前歩道花壇にマリーゴールドやラベンダー等、色とりどりの花苗840ポットを植栽した。  
当日は天候に恵まれ、問屋町の景観向上に向け、参加者は額に汗を浮かべて作業した。

### 青森交通安全協会問屋町支部 第45回定時総会

案件九、2018年度第4回理事会の日程等について  
理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第38回定時総会及び第2回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)の第45回定時総会が6月26日(火)、問屋町会館1階会議室で開催された。総会には同支部会員40名に加え、来賓として青森警察署の最上安全係長、青森交通安全協会の齊藤専務理

事が出席。総会では工藤支部長が議長を務め、2018年度事業計画等が原案どおり承認された。  
また、総会に先立ち、2017年度問屋町交通安全街頭指導の表彰が行われ、功労賞受賞者66社を代表して、青森精機(株)並びにみちのくコカ・コーラボトリング(株)に賞状と記念品が手渡された。

総会終了後には最上安全係長による「交通事故のない安心・安全な街を目指して」と題した講演会が行われた。  
最上係長は「青森県の交通事故死亡者数は6月現在ですでに昨年度の死亡者数を超えている。交通事故は一瞬で



安協 第45回定時総会

命を奪う。遺族は一生苦しみ悲しむことになる。悲しみは乗り越えられないと語る遺族もいる。運転する事の責任を自覚してほしい」と話した。

循環型社会を目指して……

製紙原料問屋・段ボール・古新聞・古雑誌  
・機密文書リサイクル

**株式会社 伸和産業**

http://shinwa-sangyou.com

青森中央営業所 青森市問屋町 2-12-14 TEL (017) 764-2755  
青森西営業所 青森市油川字岡田 122 TEL (017) 787-3455  
本社 弘前市堅田 1丁目 4-2 TEL (0172) 35-5255

車の整備はまかせて安心

**(株)問屋町カーサービス**

〒030-0131 青森市問屋町一丁目13-20  
電話 (017) 738-4505 FAX (017) 738-4556

業務報告

…主要事項…

6月

1日▽青森経済同友会通常総会

4日▽商団連第1回事務局長会世話人会

5日▽青森法人会定時総会

6日▽組合員昼食会

9日▽第19回青友会・同友会合同ゴルフコンペ

11日▽第1回事業委員会

▽津軽海峡ブランド商品

12日

13日▽第1回環境対策委員会

14日▽県高度化計画・建設断

15日▽金融審査会

19日▽第1回労務対策委員会

21日▽第3回問屋町合同清掃

22日▽問屋町経営同友会第26

23日▽簡易郵便局業務研究会

24日▽第1回問屋町緑のボラ

25日▽商団連通常総会

26日▽問屋町地区健康診断

28日▽第1回問屋町従業員モ

29期定時株主総会

▽北日本流通ヴァン(株)第

取締役会

▽県中央会第2回正副会

長会議

▽第3回理事会

▽青森問屋町配送(株)第38

開発実行委員会

▽青森地区経営者協会定

時総会

▽第3回理事会

▽青森問屋町配送(株)第38

回定時株主総会・第2回

取締役会

▽県中央会第2回正副会

長会議

▽北日本流通ヴァン(株)第

取締役会

▽第3回理事会

▽青森問屋町配送(株)第38

回定時株主総会・第2回

取締役会

▽県中央会第2回正副会

長会議

▽北日本流通ヴァン(株)第

取締役会

▽市高度化事業団体連絡

協議会通常総会

▽市高度化事業団体連絡

ニター会議

▽市高度化事業団体連絡

協議会通常総会

：問屋町

ビジネススクール：

5日▽もつと伝わる話し方講座

7日▽総務力向上研修

9日▽新入社員研修

12日▽営業交渉力向上研修①

14日▽営業交渉力向上研修②

18日▽若手従業員フォロー

20日▽若手従業員フォロー

24日▽若手従業員フォロー

28日▽若手従業員フォロー

31日▽若手従業員フォロー

8月1日▽若手従業員フォロー

8月4日▽若手従業員フォロー

8月7日▽若手従業員フォロー

8月10日▽若手従業員フォロー

8月13日▽若手従業員フォロー

8月16日▽若手従業員フォロー

8月19日▽若手従業員フォロー

おいしいお菓子づくりのお手伝い

お菓子とパンの原料専門店

(株)元木商店

本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061

八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755



おいしさはつらつ

プライフーズ株式会社

青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目14-20

電話017-738-4381 ファックス (017)738-9414

本社 〒039-1121 八戸市卸センター1丁目11-8

電話0178-28-2154(代) ファックス (0178)28-8573



積水ハウスグループ

積和建設のリフォーム

戸建・マンション・店舗 一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他

積和建設東北株式会社 青森事業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622

農林業・汎用機械 卸/販売/サービス

株式会社 ガスデン

ホンダ ヤマハ ゼノア オーレック その他 除雪機 発電機 草刈機 耕うん機 など 家庭、事務所に、小型でちょっといいモノを

青森市第二問屋町4丁目2-26 TEL: 017-739-7422 E-MAIL: gasuden@k4.dion.ne.jp FAX: 017-739-8186

禁煙のメリット&メソッド  
についてなど学ぶ  
組合員昼食会

6月6日(水)に問屋町会館1階会議室において組合員昼食会が開催され、組合員ら55名が参加した。

はじめに、(一社)青森市薬剤師会の井上常務理事が、「あなたもできる!禁煙のメリット&メソッドについて」をテーマに講話した。

井上常務は「タバコの煙は副流煙の方が有害で、離れた場所や隔離された場所で吸っていても影響がある。家族や会社の同僚などにも害を及ぼしていること意識してほしい。喫煙習慣は「ニコチン依存症」



組合員昼食会

という治療が必要な病気である。医療機関や市販薬も上手く活用し、禁煙に取り組んでほしい」と話した。

続いて、青森中央学院大学地域連携センターの越膳氏が、「大学生の県内定着とインターンシップについて」説明した。

越膳氏は「インターンシップ導入により、受け入れ企業の社員の成長や社内の活性化につながる。やり方がわからない」「受入体制が整わない」といった課題が企業側にはあると思うが、大学側に気軽に相談してほしい。企業の負担にならないよう大学側が積極的にサポートさせてもらう」と話した。

次に、建築物の金属製内外装製品の設計、製作、施工を行う組合員の(有)桂工業の桂木社長が、自社の施工実績に加え、同社が取り扱いを開始した、美味しく、おしゃれで手軽に食べられる防災食「IZ AMESHI(イザメシ)」について紹介。参加者はチョコ



肺年齢測定など実施

デニツシユ、トマトリゾット、7年保存水の試食をしながら説明に耳を傾けていた。昼食時には、青森市保健所健康づくり推進課による肺年齢測定、一酸化炭素濃度測定、ニコチン検査を希望者に対し実施するなど、非常に充実した内容の昼食会であった。

た。また食べ物が美味しく、特に魚介類が豊富で驚きました。スパーで買った刺身でもとても美味しく、単身赴任にとってありがたいですね」と笑顔で話す。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、(株)新開トランスポートシステムズ青森営業所の後藤所長にお話を伺った。

同社は明治42年4月に創業し、コンピュータ・通信機器・医療機器・製造設備等の精密機器の物流を専門に取り扱っている。

「共同(協同)・融和の心」「貢献する心」「挑戦する心」3つの心を礎に、全国約80拠点から高品質かつ均一なサービスを提供している。

「当社では精密機器輸送の専門的知識で、輸送・荷役・梱包・倉庫といった基本的な物流機能を軸に、特殊な場所での搬出入作業や通信工事、廃棄物回収な

どを組み合わせ、一貫したサービスを全国均一レベルでご提供します。創業以来100年以上の経験で培った「職人力」、国内外に展開する「ネットワーク」、それらを最適に運用する「マネジメント」。そして、それらのパーツを最大限に活かしてご提供できる「提案力」が当社の強みです」と話す。



新開トランスポートシステムズ青森営業所 後藤 伸二 所長

新たな取り組みについて話が及ぶと「平成24年にはタイに『新開トランスポート(タイランド)』を設立し、精密機械や重量物などの特殊貨物をはじめ、多種多様な製品の輸送や通関、保管など輸出入をワンストップでお受けしています。海外での装置搬入、設置、組

立や半製品・部品の検査、流通加工などにも対応しています。高品質で付加価値の高い物流サービスを構築し、当社の強みである精密機器装置分野でグローバルロジスティクスサービスをご提供します。今後は東南アジアへ拠点を増やして、長年培ってきた多くのノウハウを生かした業務拡大を目指します」と話す。

山形市出身の同氏に青森県の印象を尋ねると「昨年の4月に青森へ来ました。山形に比べるとやはり肌寒く感じました。山形は盆地であり風が吹かないため、4月・5月の青森の涼しい風を受けて、体感が全然違うと実感しまし

ました。また食べ物が美味しく、特に魚介類が豊富で驚きました。スパーで買った刺身でもとても美味しく、単身赴任にとってありがたいですね」と笑顔で話す。趣味について聞くと「スポーツ観戦が好きで、高校までサッカーをやっていたこともあり、ワールドカップはもちろんなこと、ラインメール青森FCの試合も観に行きました。また、新しく始めたかと思っているのが釣りで。せっかく海の多い青森にきたのだから釣りを覚えたいですね。昨年は1年目で余裕がなかったため、2年目となった今年は寒くなる前に1度はやりたいかと思っています」と答えてくれた。(48歳)

編集後記

今年も集団健康診断が始まりました。皆様の健康管理にお役に立つことを切に願っています。それも問屋町だけではなく青森市の健康が増進することを願っています。一面では県別平均寿命が男女とも今回も最下位だったと伝えましたが、良い話題も一つ。実は県別健康寿命で青森県は、男性が2013年44位から2016年34位と10県抜きしました。女性も19位から20位と横這いでした。転話題。先月に続き総務省自治行政・山崎局長の「二〇四〇年」と題する講演についてです。今回は、2040年頃にかけて「人口減少」が引き起こす内政上の危機についてです。危機は次の三つです。①若者が吸収し手が老いていく。②大都市圏と支え手を失う地方圏。③標準的な人生設計の消滅による雇用、教育的機能不全。④スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラ。次に、それぞれの危機内容とその対応について。①危機1人口ボーナスを享受してきた三大都市圏は、急激に高齢化局面に突入する。東京都圏等に人材を供出してきた地方は、高齢化が進み、経済活動は低下する。②今後、高齢化した東京都圏等が、その財源を自らの医療・介護に充てたとき、地方圏は行政サービスの財源を如何にして確保するのか。③そこで各地方には、AI時代に新たな発想や価値観、テクノロジーを生み出す多様な地方文化・農村空間をどうつくるかが問われる。産業構造の変化への強靱性を高めるには、多様性の確保が鍵となる。そして人材密度を高める取組が必要となる。とのこと。この稿続きます。(藤本)

STS ロジスティクス・ソリューション  
株式会社 新開トランスポートシステムズ  
◆総合物流事業  
包装・輸送・保管・荷役・搬入・据付・撤去  
○包装資材加工及び物流機器の販売  
○技術・情報システムのソフト開発及び販売  
○工場クリーンルーム内の搬入・据付・搬出・輸送  
○医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・撤去  
○倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り  
◆電気通信工事サポート  
◆物流システム設計  
◆ネットワーク&フットワーク  
輸送ネットワーク・情報ネットワーク・フットワーク  
◆産業廃棄物収集運搬  
本社 TEL:03-5653-9335 FAX:03-5653-9337  
青森営業所 TEL:017-728-7080 FAX:017-728-7081

家庭の銀行  
みちのく銀行  
問屋町支店  
739-1100  
TOM AND JERRY and all related characters and elements © & Turner Entertainment Co. (STB)